

東京都写真美術館は、アメリカ・ミネソタ州生まれの写真家アレック・ソス（1969-）の個展を開催いたします。ソスは国際的な写真家集団、マグナム・フォトの正会員であり、生まれ育ったアメリカ中西部などを題材とした、写真で物語を紡ぎだすような作品で、世界的に高い評価を受けてきました。

本展「部屋についての部屋（A Room of Rooms）」には、初めて出版されたシリーズであり、初期を代表する〈Sleeping by the Mississippi〉から、今秋刊行予定の最新作〈Advice for Young Artists〉まで出品されます。30年に及ぶソスの歩みを単に振り返るのではなく、選ばれた出品作品のほぼすべてが屋内で撮影されているように、「部屋」をテーマにこれまでのソスの作品を編み直す、当館独自の試みとなります。

出品作品の一つに〈I Know How Furiously Your Heart is Beating〉というシリーズがあります。アメリカの詩人、ウォレス・ステューヴンズ（1879-1955）の詩「灰色の部屋（Gray Room）」の一節からタイトルがとられた本作は、2019年に同名の写真集としてまとめられ、ソスのキャリアにおいて一つの転換点となっています。初期からソスはアメリカ国内を車で旅し、風景や出会った人々を大判カメラで撮影してきましたが、本作ではそうしたロードトリップのスタイルではなく、舞踏家・振付家のアンナ・ハルプリン（1920-2021）や、小説家のハニヤ・ヤナギハラ（1974-）など世界各地に様々な人々を訪ね、その人が日々を過ごす部屋の中で、ポートレートや個人的な持ち物を撮影しています。すなわち、部屋とそこに暮らす人をテーマとするこのシリーズが、本展を生み出すきっかけとなりました。



1



2

〈I Know How Furiously Your Heart is Beating〉では、静謐な空間で被写体から醸し出される親密さが大きな魅力となっています。「どれだけ激しくあなたの心臓が鼓動しているのか知っている」というタイトルは、その瞬間を写し留めたソスの胸中だけでなく、展示室という一つの部屋の中で、作品と対峙するわたしたちの心の内までをも言い表しているかのようです。

「ポートレートや風景、静物などを定期的に撮影しているが、最も親しみを感じるの室内の写真だ」と作家は述べています。ソスの作品に登場する様々な部屋や、その空間にたたずむ人々に意識を向けることで、果たして何が見えてくるのか。展覧会と写真集共に多くの支持を得る作家の表現の魅力を探ります。



3

表：《Anna, Kentfield, California》〈I Know How Furiously Your Heart is Beating〉より
2017年 東京都写真美術館蔵

1：《Bil, Sandusky, Ohio》〈Songbook〉より
2012年 東京都写真美術館蔵

2：《Still Life II》〈Advice for Young Artists〉より
2024年 作家蔵

3：《Two Towels》〈Niagara〉より
2004年 作家蔵

4：《Crystal, Easter, New Orleans, Louisiana》〈Sleeping by the Mississippi〉より
2002年 作家蔵

5：《Untitled 07》〈Dog Days, Bogotá〉より
2003年 東京都写真美術館蔵

図版すべて ©Alec Soth



4

Alec Soth *A Room of Rooms*

東京都写真美術館

2階展示室（恵比寿ガーデンプレイス内）

2024年10月10日（木）－2025年1月19日（日）

開館時間：10:00-18:00（木・金は20:00まで） *入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館）、年末年始（12/29-1/1）

観覧料：一般800（640）円／学生640（510）円／中高生・65歳以上400（320）円

*（ ）内は有料入場者20名以上の団体、当館の映画観賞券提示者

*小学生以下、都内在住・在学の中学生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者（2名まで）は無料

*1月2日（木）、3日（金）は無料 *各種割引の併用はできません

*本展はオンラインで日時指定チケットが購入できます

*事業は諸般の事情により変更することがございます。最新情報は当館ホームページでご確認ください

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

協賛：東京都写真美術館支援会員

TOP MUSEUM